

報道関係各位

2019年10月31日

LIXILグループ 2020年3月期 第2四半期決算(IFRS) 国内事業がけん引し、増収増益

株式会社 LIXIL グループ（以下 LIXIL グループ）は本日、2020年3月期第2四半期（上期）の決算を発表しました。売上収益は前年同期比 4.2%増、事業利益は 150%増、最終利益は前年同期比 318 億円増という好調な業績を達成しました。

LIXIL グループ 社長兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「国内事業に関しては、前年同期に相次ぐ自然災害の影響を受けたのに対し、当期は旺盛な国内需要を取り込むことができました。特に、消費税増税前のリフォーム需要の高まりや、今年1月～3月における新設住宅着工戸数の増加が売上にプラスに作用し、住宅建材事業を展開する LIXIL Housing Technology (LHT) および水まわり事業を手がける LIXIL Water Technology (LWT) が成長をけん引しました。海外事業については、厳しい市場環境の中、現地通貨ベースで増収増益を達成したものの、為替の影響により、円換算では減収増益となりました。通期業績目標の達成に向けて、引き続き国内事業の生産性向上を図るとともに、海外におけるシナジー商品の拡販や新規事業拡大を最優先事項と位置付け、取り組みをさらに強化していきます。

加えて、LIXIL グループは、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献することを重視しています。上期は ESG（環境・社会・ガバナンス）の非財務面において、環境効率改善に向けた目標を計画より2年前倒しで達成するなど、着実に成果をあげてきました。このような社会の要請に応え、世界中の人びとのより豊かで快適な暮らしの実現に貢献するという目標が、当社の事業のさらなる発展に向けた推進力となっています」

決算の概要（第2四半期累計）

売上収益

LIXIL グループの2020年3月期第2四半期（6か月累計）の売上収益は、前年同期比 4.2%増の 9,255 億円となりました。国内事業は、前年同期比 6.6%増の 6,676 億円に拡大しました。特に LHT は、すべての主要商品カテゴリーの好調な販売を背景に、前年同期比 9%の増収を達成しました。また、LWT は前年同期比 5%増、流通小売事業（D&R）も前年同期比 8%増と堅調に推移しました。

一方、海外事業の売上収益については、現地通貨ベースでは 2.7%増の売上成長となったものの、為替の影響に加え、LWT 事業が北米における市場変化の影響を受けたことにより、前年同期比 1.9%減の 2,719 億円となりました。

事業利益^{※1}

事業利益は、前年同期比 2.5 倍（150%増）の 345 億円となりました。国内では、今年1月～3月の新設住宅着工戸数の増加と消費税増税前の旺盛なリフォーム需要に支えられ、LIXIL Building Technology (LBT) 事業を除く全事業が増益となりました。特に LHT は、売上増加と生産効率の改善などにより、事業利益が引き続き改善しました。

海外事業の事業利益は、為替の影響を受けたものの、マーケティング等一部施策の後ろ倒しとセールスマックスの変化に伴い、増益となりました。

最終利益^{※2}

最終利益は、事業利益の増加に加え、子会社株式および関連会社に対する持分の売却益計上に伴い、前年同期比 318 億円増となる 231 億円でした。

■ 第 2 四半期累計期間の主な動き

- 事業効率向上を目指す取り組みの一環として、事業ポートフォリオの見直しとバランスシート強化を継続的に進めており、2019 年 9 月 30 日までに子会社および関連会社計 3 社（株式会社建デポ、株式会社シニアライフカンパニー、株式会社 LIXIL 鈴木シャッター）の株式譲渡を完了しました。
- LIXIL グループでは、国内の新設住宅着工戸数の長期的な減少を見据えたリフォーム戦略を推進していますが、国内需要増と差別化商品の売上好調により、リフォーム商材売上は前年同期比 9.4%に拡大しました。また、国内のリフォーム関連売上比率は、37%となりました。
- 2016 年 3 月期に設定した環境ビジョンに基づき、二酸化炭素排出量の削減に向けた取り組みを進めてきましたが、事業所からの二酸化炭素排出原単位の改善を計画より 2 年前倒しで達成しました。今期以降は、「環境ビジョン 2050」として計画をアップデートし、CO2 排出ネットゼロに加え、水資源の保全と持続可能な資源利用に向けた取り組みを加速させていきます。
- LIXIL グループは、世界的な社会的責任投資指標である「[Dow Jones Sustainability World Index \(DJSI World\)](#)」の構成銘柄に初選定され、アジア・太平洋地域版の「[Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index](#)」には、3 年連続で選定されました。DJSI World には、業種別に上位 10%の企業のみが選定されており、当社のサステナビリティを事業運営に取り込む継続的な取り組みが高く評価されています。
- 株価変動のリスクとメリットを株主と共有し、株価上昇と企業価値の向上につなげるべく、取締役および執行役の報酬制度を見直し、新たに株価連動報酬制度（ファントムストック）を導入しました。当制度は、昨年度より海外幹部向けに導入されていましたが、この度、LIXIL グループ全体で共通の報酬体系として採用しました。
- Synergy Creation Officer 兼 Chief Integration Officer として、[Nik Bafana 氏](#)を招聘しました。日本で培われた技術の海外移転を進め、グローバルブランドを通じて世界に提供する取り組みを加速させるとともに、海外市場向けのシャワートイレやユニットバス、フィルターといった成長が見込まれる新商品カテゴリーに関して、プラットフォーム化を進める重要な役割を担います。2020 年 3 月期第 2 四半期においては、シナジー関連商品および新規事業の売上増が、海外事業売上成長の大半を占めています。
- 実力主義に基づく組織文化を醸成し、国内事業の強化や海外事業とのシナジー創出を推進する人事施策の一環として、次世代を担う人材の役員登用を進めています。高い能力を有する人材を早くから責任のあるポジションに登用する[役員人事](#)を発表しました。

※1 IFRS の事業利益は、日本会計基準（JGAAP）の営業利益に相当。

※2 親会社の所有者に帰属する四半期利益。

■ LIXIL について

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約75,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。LIXILなどのブランドを展開する、株式会社LIXILグループ（証券コード: 5938）は、2019年3月期に1兆8,326億円の連結売上高を計上しています。

LIXILについて：www.lixil.com/jp、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>